

ガーデン・ツーリズム登録制度 令和7年度 登録計画事業実施報告 北海道ガーデン街道協議会 令和8年4月10日

具体的な事業の実施状況

事業名：共通チケットの販売

実施主体：北海道ガーデン街道協議会

事業期間：2025年4～10月

実施施設：大雪 森のガーデン・上野ファーム・風のガーデン・
十勝千年の森・真鍋庭園・十勝ヒルズ・紫竹ガーデン・六花の森

実施概要

●個人向けチケット(3カ所入園可能、十勝2,000円、大雪2,300円)は十勝が7,995(昨年度7,450)、大雪エリアは1,579枚(昨年度1,638)を販売。主要旅行代理店ツアーも前年比81%ほどとなっており、まだ最盛期であった2017年(17,694枚)と比較すると2分の1程度である。

*販売施設内訳(ガーデン8か所、宿泊施設11か所、観光協会3所、交通機関1か所、その他2か所)

全国からの8施設ツアー数は3,689人(昨年度は4,252人)となっており、前年比86.7%となり、高齢化社会による影響を受けていると思われる

●主要旅行会社は計3,065名分の利用があり、昨年比よりダウン。(前年4,266人、72%)

※4施設、8施設の2種類あり。

2025年は前年と比べて大きな伸びとはなっておらず、引き続きバス運転手不足や原油高によるインフレ、また高齢者社会の進行による影響もあり、顧客の集客に結びつかずツアー催行ができなかったのも要因ではないかと推察される。

【結果まとめ】北海道ガーデン街道の主要顧客である60～80代は自分で運転する事が苦手な方も多く、交通弱者でもあるため、バス利用がとても重要な要素である。しかしながら運転手不足問題とも重なり、今後も大幅な増員は期待できない状況

ガーデンをお得に巡るのにおすすめのチケット!

■とがち花めぐり共通券

十勝のガーデン3施設を選んでお得に巡れるチケットです。
詳しくは帯広観光協会ホームページをご確認ください。



帯広観光コンベンション協会ホームページ
<https://obikan.jp>



写真はイメージです

お一人様 **2,000円**(税込)

■上川エリア 3つの庭旅チケット

風のガーデン(富良野)・上野ファーム(旭川)・大雪 森のガーデン(上川)3つの美しい庭がお得に巡れるチケットです。
それぞれの施設でチケットが購入できます。シーズン中なら好きな時に、どの施設からでも巡ることができます。



お一人様 **2,300円**(税込)

お問い合わせ先

- とがち観光情報センター TEL 0155-23-6403
- ふらの観光協会 TEL 0167-23-3388
- 旭川観光物産情報センター TEL 0166-26-6665

Le Tourisme Vert de Hokkaido 北海道ガーデン街道



【主催】北海道ガーデン街道協議会 【後援】旭川観光コンベンション協会、富良野・美瑛広域観光協会連絡会議、十勝観光連盟



<https://hokkaido-garden.jp>

Le Tourisme Vert de Hokkaido

北海道ガーデン街道とは

北海道の代表的な美しい8つのガーデンが集中している、
大雪～富良野～十勝を結ぶ全長約250kmの街道です。
いずれのガーデンも北海道独自の気候や景観を生かした個性にあふれ、
自然の風景や山並み、アクティビティーを楽しめるとともに、
豊かな食も充実した観光ルートです。

- Garden 1 大雪 森のガーデン
- Garden 2 上野ファーム
- Garden 3 風のガーデン
- Garden 4 十勝千年の森
- Garden 5 真鍋庭園
- Garden 6 十勝ヒルズ
- Garden 7 紫竹ガーデン
- Garden 8 六花の森



— 高速道路
— JR
— 都市間バス「ノースライナー」
— 北海道ガーデン街道

JR 釧路線・富良野～新得間は2024年3月末で廃止となりました
富良野～新得間は都市間バス「ノースライナー」が運行

事業名：共同でPR(HPやパンフレット作成等)

実施主体：北海道ガーデン街道協議会

事業期間：2025年4月～10月

実施施設：大雪 森のガーデン・上野ファーム・風のガーデン

- ・十勝千年の森・真鍋庭園・十勝ヒルズ・紫竹ガーデン・六花の森
- ・ホテル大雪・星野リゾート OMO7 旭川・新富良野プリンスホテル
- ・北海道ホテル

実施概要 ●パンフレットの作成・B3サイズ八つ折り

(サイズ364m×515m)

- ・印刷冊数：8万部 製作費は各施設から製作負担金として徴収し製作。

- ・2021年12月から製作開始し、3月末に完成させて、配布を行った。
- ・表面は表紙、地図、交通案内、チケット情報、ホテル情報
秋のガーデン特集、NEXCO東日本SA/PA情報
- ・裏面は8ガーデンの営業情報などを記載

事業名：毎年恒例の企画イベント

実施主体：北海道ガーデン街道協議会

事業期間：2025年度はなし

実施施設：同上

実施概要 ●ガーデン巡りスタンプラリー●ガーデンフォトコンテスト
コロナ以前は実施していましたが、2020～2024年は実施せず。
2024年の検討もしましたが、まだ観光需要の復活が不透明なため
実施を見送りました。

●まとめ

2025年度の観光業は円安要因によりインバウンドが年間通じて3700万4,268万人と過去最高を記録しました。北海道ガーデン街道には台湾や韓国からの少人数の入客はありますが、それ以外の国、特に中国本土からの入込はまだ弱い状況となっております。営業はしているものの、北海道内でも札幌や小樽、函館などが中心となっており、地方でもスキー場があるニセコ、富良野などに訪問が集中しております。また一方でフードツーリズムを目的としているインバウンド客も多いことから、「ガーデン×食」をターゲットにした対策を欧米向けにプロモーションが必要と思われます。労働者不足も問題となっており、バスやタクシーの運転者不足、ホテルや旅館のスタッフ、特に料理人や清掃員不足も地域観光業を再興させるための課題となっております。

このような状況で2024年10月から首都圏と道内客向けに札幌の旅行代理店に向けた営業やツアー担当者への説明を行いました。団体ツアーは昨年72%となっておりますが、引き続き8ガーデン連携によるプロモーションを継続させていきます。また上野ファームや十勝ヒルズなどのガーデンでは20～40代を狙ったイベント、SNS映えさせるための企画を実施した事で大幅に地元を中心とした個人来場客数を伸ばしました。

結果、8施設全体で339,070人(前年319,103人、106%)という、最盛期と比べるとまだ厳しい数字ながらも、善戦できたのではないと感じております。

●今後の取り組み

インバウンド、特に台湾や中国、韓国を中心としたFITや団体客ツアーも復調しており、今後さらに営業やプロモーションをしっかりと行ってく事が大切と認識しております。

そのため2026年度シーズンに向けて、しっかりと体制と連携をさらに整えつつ、SNS映えする企画、若年層への取り組みと、ツアー会社への営業と連携をはかりたいと考えております。